

令和5年6月16日

千葉県報第13846号別冊

令和5年度第1回

監 査 結 果

千葉県監査委員

令和5年1月1日から令和5年4月30日までの間に実施した
監査の結果に関する報告を、地方自治法第199条第9項の規定
により、次のとおり提出する。

令和5年6月16日

千葉県監査委員	小倉	明
千葉県監査委員	川口	明浩
千葉県監査委員	関	政幸
千葉県監査委員	岩井	泰憲

本報告は、千葉県監査委員監査基準（令和2年千葉県監査委員告示
第1号）に準拠したものである。

目 次

第1 監査の概要

1 定期監査	1
(1) 監査等の種類	1
(2) 監査の実施内容及び着眼点	1
(3) 監査の対象等	1
2 財政的援助団体等の監査	2
(1) 監査等の種類	2
(2) 監査の実施内容及び着眼点	2
(3) 監査の対象等	2

第2 定期監査の結果

1 普 通 会 計	3
(1) 指摘等結果の概要	3
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	4
ア 健康福祉部出先機関	4
イ 商工労働部出先機関	5
ウ 農林水産部出先機関	5
エ 県土整備部出先機関	6
オ 教育委員会教育機関	7
(3) 監査の実施状況	8
2 公 営 企 業 会 計	9
(1) 指摘等結果の概要	9
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	9
ア 県土整備部出先機関	9
イ 病院局出先機関	9
(3) 監査の実施状況	9

第3 財政的援助団体等の監査の結果

1 出 資 団 体	11
(1) 指摘等結果の概要	11
(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	11
(3) 監査の実施状況	11
(4) 団体の概要	12
2 補助金交付団体	43
I 学校法人(私立高等学校)	43
(1) 指摘等結果の概要	43

(2)	指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	43
(3)	監査の実施状況	43
II	その他の団体	43
(1)	指摘等結果の概要	43
(2)	指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	43
(3)	監査の実施状況	44
3	公の施設の管理団体	44
(1)	指摘等結果の概要	44
(2)	指摘事項及び注意事項に係る個別の結果	44
(3)	監査の実施状況	44

第1 監査の概要

1 定期監査

- (1) 監査等の種類 地方自治法第199条第1項及び第2項並びに千葉県監査委員監査基準（令和2年千葉県監査委員告示第1号）第2条第1項第1号及び第2号の規定による監査

(2) 監査の実施内容及び着眼点

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びに事務事業について、合規性、正確性、経済性、効率性及び有効性の観点から実施した。

また、監査の効率化等の観点から次の重点監査事項を設定するとともに、内部統制制度の整備・運用状況等を踏まえ、監査を実施した。

ア 財務事務について

(7) 収入未済に係る債権管理等について

行政代執行負担金、水道料金等の収入未済については、解消に向けた債権管理の手続等が適正に講じられているかを確認する。

また、県税の収入未済については、効果的な縮減対策が行われているか、公営企業会計における破産更生債権等については、その管理が適正に行われているかを確認する。

(4) 工事の執行について

契約、設計、積算、施工、履行確認等、予算が適正かつ効率的に執行されているかを確認するとともに、施工後の管理についても確認する。また、施工時期の平準化の取組状況と併せ、進行管理の徹底による繰越しの縮減に努めているかを確認する。

(6) 契約事務について

契約及びその履行確認が法令等に基づき適正に行われているかを確認する。

(5) 財産の管理等について

財産の取得、管理及び処分が法令等に基づき適正に行われているか、その財産が有効に活用されているかを確認する。

イ 適正な事務執行の確保について

以下の取組等により経理処理を含めた適正な事務執行の確保が組織的に図られているかを確認する。

- ・業務プロセス上のリスクの適正な識別・評価に基づく対応の徹底
- ・職員のコンプライアンス意識の徹底
- ・職員の事務処理能力の向上
- ・組織における複数の職員での確認や事務進捗管理等の徹底

(3) 監査の対象等

ア 実施した範囲	令和4年度会計に係る執行分	
イ 実施した期間	令和5年1月1日から令和5年4月30日まで	
ウ 監査実施機関数	普通会計	58機関（出先機関等58機関）
	公営企業会計	18機関（出先機関18機関）
	計	76機関（出先機関等76機関）

2 財政的援助団体等の監査

(1) 監査等の種類 地方自治法第199条第7項並びに千葉県監査委員監査基準（令和2年千葉県監査委員告示第1号）第2条第1項第3号の規定による監査

(2) 監査の実施内容及び着眼点

ア 出資団体

出納その他の事務で財政的援助等に係るものの執行が適切かつ効率的に行われているか、その財政的援助等の目的に沿って行われているか、団体等に対する所管部局の指導監督が適切に行われているかを主眼に実施した。

また、資金管理及び運用並びに公の施設の管理受託の状況について確認した。

イ 公の施設の管理団体

公の施設の管理業務が目的に沿って適切かつ能率的に執行されているか及び指定管理料に係る会計処理は適正に行われているかを主眼に実施した。

(3) 監査の対象等

ア 実施した範囲	令和3年度会計に係る執行分
イ 実施した期間	令和5年1月1日から令和5年4月30日まで
ウ 監査実施機関数	出資団体 18団体
	補助金交付団体 8団体（学校法人（私立高等学校）6団体 その他の団体 2団体）
	<u>公の施設の管理団体 1団体</u>
	計 27団体

第2 定期監査の結果

1 普通会計

監査を実施した58機関について、以下の点を除き、おおむね適正と認められた。
(指摘事項又は注意事項のあった機関…24機関)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項 (5件)

- ・ 契約事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件
- ・ 履修登録事務の誤りについて、再発防止を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 収入事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

イ 注意事項 (33件)

- ・ 収入未済の解消を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11件
- ・ 個人情報記載された書類の紛失等について、再発防止を求めたもの・・・・・・・・ 3件
- ・ 収入事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件
- ・ 支出事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件
- ・ 契約事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件
- ・ 工事の積算について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件
- ・ 使用許可について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2件
- ・ 工作物の管理不備について、再発防止を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 特別児童扶養手当の事務誤りについて、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・ 1件
- ・ 生徒の成績評価の誤りについて、再発防止を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 債権について、適正な管理を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 授業料の事務手続について、適正な運用を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 支出負担行為の遅延について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・ 1件

ウ 指導事項 (59件)

- ・ 収入未済に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12件
- ・ 収入事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9件
- ・ 支出負担行為の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7件
- ・ 支払の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7件
- ・ 調定の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6件
- ・ 財産の管理に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6件
- ・ 契約事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件
- ・ 工事の積算に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件
- ・ 債権管理に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 文書の管理に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

【参考】 監査の結果の処理区分及び基準

区分	基準
指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令等の重大な違反や不正な行為があった場合その他著しく適正を欠くと認められる場合 ・ 経済性、効率性及び有効性の観点から著しく不適切又は不合理であると認められる場合 ・ 前回の監査において注意事項とした事項について改善の効果が認められない場合
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令等の違反があった場合その他適正を欠くと認められる場合 ・ 経済性、効率性及び有効性の観点から不適切又は不合理であると認められる場合 ・ 前回の監査において指導事項とした事項について改善の効果が認められない場合
指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務処理等について適正を欠くものがあると認められるもののその内容が軽微である場合 ・ 事務処理等について違法ではないものの改善することにより適正な事務の執行が図られると認められる場合

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

ア 健康福祉部出先機関

監査対象機関	指摘事項等
市川健康福祉センター	注意事項 ① 個人情報記載書類について、誤って他の者に送付した事例が認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。 ② 需用費等の執行について、支払時期の遅延が19件(706,123円)認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。
印旛健康福祉センター	指摘事項 産業廃棄物の処分について、産業廃棄物処分業許可を受けていない者に委託し、廃棄物が適法に処分されなかった事例が認められたことから、今後は、関係法令を遵守し適正な事務手続を行うこと。 注意事項 ① 雑入(生活保護費弁償金等)について、令和4年10月末現在で17,791,697円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実に実行し、早期解消に努めること。 ② 肝炎治療特別促進事業の療養費について、療養費の算出誤りにより過払いとなった事例が1件(37,554円)認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。
山武健康福祉センター	注意事項 雑入(生活保護費弁償金等)について、令和4年12月末現在で25,924,682円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実に実行し、早期解消に努めること。
長生健康福祉センター	注意事項 雑入(生活保護費弁償金等)について、令和4年12月末現在で20,328,161円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実に実行し、早期解消に努めること。
安房健康福祉センター	注意事項 委託料の執行について、決裁を経ずに発注していた事例が認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。
君津健康福祉センター	注意事項 特別児童扶養手当について、事務処理の誤りにより支給が遅延している事例が143件(27,221,100円)認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。
市原健康福祉センター	注意事項 ① 特別会計母子父子寡婦福祉資金の雑入(違約金)について、令和4年12月末現在で11,429,733円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実に実行し、早期解消に努めること。 ② 特別管理産業廃棄物処理委託契約(契約単価3,300円/20リットル、4,950円/49リットル)について、予定価格(単価2,200円/20リットル、3,850円/49リットル)を超えていることを看過し契約を締結していた事例が認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。

監査対象機関	指摘事項等
中央児童相談所	<p>注意事項</p> <p>民生費負担金（児童措置費負担金）について、令和４年１２月末現在で 56,612,740 円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。</p> <p>また、県立施設の民生費負担金（児童福祉施設費負担金）に係る収入未済についても、解消に努めること。</p>
市川児童相談所	<p>指摘事項</p> <p>産業廃棄物の処分について、産業廃棄物処分業許可を受けていない者に委託し、廃棄物が適法に処分されなかった事例が認められたことから、今後は、関係法令を遵守し適正な事務手続を行うこと。</p> <p>注意事項</p> <p>民生費負担金（児童措置費負担金）について、令和４年１２月末現在で 40,959,527 円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。</p> <p>また、県立施設の民生費負担金（児童福祉施設費負担金）に係る収入未済についても、解消に努めること。</p>
柏児童相談所	<p>注意事項</p> <p>民生費負担金（児童措置費負担金）について、令和４年１２月末現在で 35,159,948 円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。</p> <p>また、県立施設の民生費負担金（児童福祉施設費負担金）に係る収入未済についても、解消に努めること。</p>
君津児童相談所	<p>注意事項</p> <p>民生費負担金（児童措置費負担金）について、令和４年１２月末現在で 18,889,399 円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。</p> <p>また、県立施設の民生費負担金（児童福祉施設費負担金）に係る収入未済についても、解消に努めること。</p>
精神保健福祉センター	<p>注意事項</p> <p>需用費等の執行について、支払時期の遅延が認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。</p>

イ 商工労働部出先機関

監査対象機関	指摘事項等
障害者高等技術専門学校	<p>注意事項</p> <p>レギュラーガソリン単価契約（契約単価 172.37 円／リットル）について、予定価格（単価 172.1 円／リットル）を超えていることを看過し契約を締結していた事例が認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。</p>

ウ 農林水産部出先機関

監査対象機関	指摘事項等
山武農業事務所	<p>注意事項</p> <p>特別会計就農支援資金の貸付金元利収入等について、令和４年１２月末現在で 15,671,859 円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。</p>

エ 県土整備部出先機関

監査対象機関	指摘事項等
千葉土木事務所	<p>指摘事項 県単河川維持工事（都川伐木工）において、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の規定に基づく届出を行わなかったこと、また、県単河川維持工事（桑納川外堤防補修工）及び同委託（村田川伐木）において、伐採材等の処理が廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づき適正に行われなかったことから、今後は、法令等を遵守し適正な事務手続を行うこと。</p> <p>注意事項 ① 負担金、補助及び交付金の執行について、支出負担行為が6か月以上遅延している事例が1件（18,700,000円）認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。 ② 社会資本整備総合交付金（交付金街路）工事（鷺沼歩道整備工）について、積算金額の誤り（605,000円の過小）が認められたことから、今後は適正な積算を行うこと。</p>
葛南土木事務所	<p>注意事項 道路使用料について、調定が欠落している事例が1件（255円）認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。</p>
成田土木事務所	<p>注意事項 ① 雑入（原因者負担金）について、令和4年11月末現在で40,241,150円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。 ② 河川占用許可手続において、許可内容に不備があり、また、許可に基づかない徴収を行っていた事例が認められたことから、今後は法令に基づく適切な許可を行うとともに、適正な事務手続を行うこと。 ③ 現金の取扱いについて、財務規則等に基づかない事務処理や組織内の責務が不明瞭であった事例が認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。</p>
銚子土木事務所	<p>注意事項 ① 県単橋梁修繕工事（高神第2橋補修工）について、積算金額の誤り（22,000円の過小）が認められたことから、今後は適正な積算を行うこと。 ② 河川水面使用料について、債権管理に適正を欠いていたことにより、時効が完成していない債権について不納欠損処理を行っていた事例が認められたことから、今後は適正な事務処理に努めること。</p>

監査対象機関	指摘事項等
山武土木事務所	注意事項 ① 行政代執行費用等について、令和4年12月末現在で17,053,392円と多額の収入未済が認められることから、所要の事務手続を着実にを行い、早期解消に努めること。 ② 河川水面使用料について、調定が6か月以上遅延している事例が2件(3,300円)認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。 ③ 大布川樋門において、ゲートの開閉不良により水位が上昇し、周辺住家に浸水被害が生じた事例が認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。
長生土木事務所	注意事項 行政財産使用許可について、使用料の算定に誤りがあり、調定が4,514円不足していた事例が認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。
君津土木事務所	指摘事項 国有土地使用料等について、調定が3か月以上遅延している事例が230件(14,034,337円)認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。

オ 教育委員会教育機関

監査対象機関	指摘事項等
流山北高等学校	注意事項 ① 生徒の成績処理に係る事務に適正を欠く事例が認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。 ② 生徒の個人情報に記載された書類を紛失した事例が認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。 ③ 教育使用料(全日制高等学校授業料)に係る就学支援金制度の運用に適正を欠く事例が認められたことから、今後は適正な運用に努めること。
成田国際高等学校	指摘事項 国際科の履修登録に係る業務において、修得科目とは異なる科目を登録したことにより、誤った調査書を出願先等へ提出していたにも関わらず、卒業生に対する影響度合いの把握を怠っている事例が複数年度にわたり認められた。出願先等に対する実態把握を行うなど、適切な是正措置を講じるとともに、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。
特別支援学校流山高等学園	注意事項 生徒の個人情報に記載された書類を紛失した事例が認められたことから、今後は、このような事態を二度と発生させないよう、再発防止に向けた対策を講じること。

(3) 監査の実施状況

【普通会計（出先機関等） 58機関】

実施機関名		実施年月日
防災危機管理部	消防学校	令和5年2月24日
健康福祉部	習志野健康福祉センター、市川健康福祉センター、山武健康福祉センター、長生健康福祉センター、安房健康福祉センター、市原健康福祉センター、中央児童相談所、市川児童相談所、柏児童相談所、銚子児童相談所、君津児童相談所	令和5年3月10日
	松戸健康福祉センター、野田健康福祉センター	令和5年2月9日
	印旛健康福祉センター、香取健康福祉センター	令和5年2月10日
	君津健康福祉センター、鶴舞看護専門学校	令和5年1月24日
	衛生研究所	令和5年1月20日
	精神保健福祉センター	令和5年1月31日
環境生活部	現代産業科学館	令和5年2月7日
商工労働部	障害者高等技術専門学校	令和5年2月22日
農林水産部	山武農業事務所	令和5年4月27日
	長生農業事務所	令和5年1月26日
	安房農業事務所	令和5年2月14日
	君津農業事務所	令和5年2月28日
	農林総合研究センター	令和5年2月22日
	南部林業事務所	令和5年3月3日
県土整備部	銚子漁港事務所	令和5年3月2日
	千葉土木事務所	令和5年3月7日
	葛南土木事務所	令和5年2月7日
	成田土木事務所、北千葉道路建設事務所	令和5年3月14日
	銚子土木事務所	令和5年3月2日
	山武土木事務所	令和5年4月27日
	長生土木事務所	令和5年1月26日
	君津土木事務所	令和5年2月24日
木更津港湾事務所	令和5年2月28日	
教育委員会 教育機関	千葉工業高等学校、茂原高等学校、茂原樟陽高等学校、一宮商業高等学校、大原高等学校	令和5年1月17日
	生浜高等学校、行徳高等学校、流山北高等学校、長狭高等学校、特別支援学校流山高等学園、君津特別支援学校	令和5年1月27日
	船橋豊富高等学校、松戸馬橋高等学校、柏の葉高等学校、柏中央高等学校	令和5年2月3日
	成田国際高等学校	令和5年3月10日
警察署	船橋東警察署、八千代警察署	令和5年2月3日
	印西警察署	令和5年3月1日
	茂原警察署	令和5年1月26日

2 公営企業会計

監査を実施した18機関について、以下の点を除き、おおむね適正と認められた。

(指摘事項又は注意事項のあった機関…2機関)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項 (2件)

- ・ 収入事務について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 支出負担行為の遅延について、適正な事務手続を求めたもの・・・・・・・・・・・・ 1件

イ 注意事項

注意すべき事項は認められなかった。

ウ 指導事項 (5件)

- ・ 収入未済に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件
- ・ 支出負担行為の時期に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件
- ・ 支出事務に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

ア 県土整備部出先機関

監査対象団体	指摘事項等
印旛沼下水道事務所	指摘事項 行政財産使用料等について、調定が3か月以上遅延している事例が12件(7,179,258円)認められたことから、今後は適正な事務手続を行うこと。

イ 病院局出先機関

監査対象団体	指摘事項等
がんセンター	指摘事項 前回の監査に引き続き支出負担行為が遅延している事例が多い実態が認められた。 今後は、更なる改善が必要であることから、より効果のある方策を検討するなど、適正な事務手続を行うこと。

(3) 監査の実施状況

【公営企業会計(出先機関等) 18機関】

	実施機関名	実施年月日
県土整備部都市整備局	印旛沼下水道事務所	令和5年4月27日
	手賀沼下水道事務所	令和5年3月8日
	江戸川下水道事務所	令和5年2月7日
企業局	船橋水道事務所	令和5年1月17日
	施設整備センター	令和5年1月17日
	栗山浄水場	令和5年3月10日
	北総浄水場	令和5年3月10日
	ちば野菊の里浄水場	令和5年3月10日
	北船橋給水場	令和5年3月10日
	松戸給水場	令和5年3月10日

	水質センター	令和5年3月10日
	千葉工業用水道事務所	令和5年1月31日
病院局	がんセンター	令和5年1月20日
	救急医療センター	令和5年1月20日
	精神科医療センター	令和5年1月31日
	こども病院	令和5年2月22日
	循環器病センター	令和5年1月24日
	佐原病院	令和5年1月19日

第3 財政的援助団体等の監査の結果

1 出資団体

監査を実施した18団体について、以下の点を除き、おおむね適正と認められた。
 (指摘事項又は注意事項のあった団体…なし)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項

指摘すべき事項は認められなかった。

イ 注意事項

注意すべき事項は認められなかった。

ウ 指導事項(1件)

- ・ 資産の管理に係るもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1件

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

特になし

(3) 監査の実施状況

【出資団体 18団体】

実施団体名 (主務課)	実施年月日
株式会社千葉データセンター (商工労働部産業人材課)	令和5年1月17日
公益財団法人千葉県動物保護管理協会 (健康福祉部衛生指導課)	令和5年1月19日
東葉高速鉄道株式会社 (総合企画部交通計画課)	令和5年2月3日
公益財団法人千葉県生活衛生営業指導センター (健康福祉部衛生指導課)	令和5年2月3日
公益社団法人千葉県園芸協会 (農林水産部生産振興課)	令和5年2月3日
公益財団法人千葉県消防協会 (防災危機管理部消防課)	令和5年2月24日
公益財団法人千葉県建設技術センター (県土整備部技術管理課)	令和5年3月7日
公益財団法人千葉県私学教育振興財団 (総務部学事課)	令和5年3月10日
公益財団法人成田空港周辺地域共生財団 (総合企画部空港地域共生課)	令和5年3月10日
京葉臨海鉄道株式会社 (総合企画部交通計画課)	令和5年3月10日
公益財団法人千葉ヘルス財団 (健康福祉部疾病対策課)	令和5年3月10日
公益財団法人千葉県文化振興財団 (環境生活部スポーツ・文化局文化振興課)	令和5年3月10日
公益財団法人千葉交響楽団 (環境生活部スポーツ・文化局文化振興課)	令和5年3月10日
株式会社幕張メッセ (商工労働部経済政策課)	令和5年3月10日
一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター (商工労働部観光企画課)	令和5年3月10日
千葉県園芸プラスチック加工株式会社 (農林水産部生産振興課)	令和5年3月10日
公益財団法人千葉県緑化推進委員会 (農林水産部森林課)	令和5年3月10日
一般財団法人千葉県漁業振興基金 (農林水産部水産局水産課)	令和5年3月10日

(4) 団体の概要（監査実施時における団体公表資料）

ア 株式会社千葉データセンター

(ア) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 電子計算機、通信機、事務機器、売上会計システム及びソフトウェアの開発、設計、作成、機器への入出力及び保守業務の請負並びにこれに関する製品の売買及び輸出入
- b 電子計算機、通信機、事務機器の運転及び保守の請負
- c 研修会、講演会、交流会、展覧会その他各種催事の企画、設営、運営、指導及びこれに関する業務の請負
- d 磁気、光学記録媒体によるソフトウェアの企画、制作及び販売
- e 前各号に関する市場調査、文書作成、通訳、翻訳、一般事務の請負及び業務改善等に関するコンサルティング業務

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

費	用	収	益
売上原価	65,049,009 円	売上高	98,521,610 円
販売費及び一般管理費	28,789,640	営業外収益	41,794
税引前当期純利益	4,724,755		
(法人税、住民税および事業税)	(810,297)		
(当期純利益)	(3,914,458)		
計	98,563,404	計	98,563,404

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

資	産	負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	85,258,669 円	流動負債	16,257,707 円
現金預金	70,732,246	買掛金	4,754,965
売掛金	12,544,713	未払費用	2,783,567
未収入金	1,933,322	未払法人税等	810,200
立替金	120,890	未払消費税等	3,335,900
貸倒引当金	△72,502	預り金	423,075
固定資産	42,769,239	賞与引当金	4,150,000
有形固定資産	42,405,239	株主資本	111,770,201
無形固定資産	364,000	資本金	100,000,000
		利益剰余金	11,770,201
計	128,027,908	計	128,027,908

(エ) 令和3年度の出資金の状況

- a 出資金は、34,000,000 円である。

イ 公益財団法人千葉県動物保護管理協会

(7) 目的

動物による危害・被害を防止し、動物を愛護する精神を広く社会に普及し、併せて生命尊重等の意識の高揚を図り、もって人と動物との調和のとれた社会づくりに寄与するとともに、社会福祉の向上を目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 動物の愛護及び適正な保護管理に関する知識の普及及び啓発に関する事業
- b 動物の適正な飼養及び保管に関する指導及び相談に関する事業
- c 動物の保護及び管理に関する必要な教育、調査及び研究に関する事業
- d 動物の保護及び管理に係る業務の受託に関する事業
- e 社会福祉の向上に関する事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	35,925,239	経常収益	35,596,611
事業費	34,676,811	基本財産運用益	4,011,407
管理費	1,248,428	受取会費	1,472,408
当期一般正味財産増減額	△182,193	事業収益	1,218,040
		受取補助金等	28,249,958
		受取寄付金	639,742
		雑収益	5,056
		基本財産評価益	146,435
計	35,743,046	計	35,743,046

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	2,409,277 円	流動負債	1,499,285 円
現金・預金	1,254,519	未払金	902,211
未収金	1,154,758	預り金	597,074
固定資産	280,000,000	正味財産	280,909,992
基本財産	280,000,000	指定正味財産	280,000,000
		(うち基本財産への充当額)	(280,000,000)
		一般正味財産	909,992
計	282,409,277	計	282,409,277

(エ) 令和3年度の出捐金の状況

- a 出捐金は、140,000,000円である。

ウ 東葉高速鉄道株式会社

(ア) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 鉄道による一般運輸業
- b 不動産業及び建設業
- c 旅行業及び広告業
- d ホテル業及び旅館業
- e 遊園地、娯楽施設及び駐車場の経営
- f 飲食店及び売店の経営
- g 郵便切手、収入印紙、たばこ、酒類、薬品、食料品、日用品及び雑貨類の販売業

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

費	用	収	益
鉄道事業営業費	9,738,149,577 円	鉄道事業営業収益	13,136,162,346 円
運送費	4,437,918,437	旅客運輸収入	12,679,728,484
一般管理費	310,206,759	運輸雑収	456,433,862
諸税	793,250,454	営業外収益	82,869,465
減価償却費	4,196,773,927	受取利息	1,949
営業外費用	1,229,157,529	有価証券利息	23,540,000
支払利息	1,056,891,587	その他の収益	59,327,516
その他の費用	172,265,942	特別利益	31,011
特別損失	0		
税引前当期純利益	2,251,755,716		
(法人税、住民税及び事業税)	(748,412,740)		
(法人税等調整額)	(△44,327,000)		
(当期純利益)	(1,547,669,976)		
計	13,219,062,822	計	13,219,062,822

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	20,924,807,948 円	流動負債	9,529,042,933 円
現金及び預金	19,692,398,045	未払金	6,171,264,942
未収運賃	976,376,892	未払費用	257,086,683
未収金	63,141,158	未払消費税等	146,343,200
貯蔵品	157,579,124	未払法人税等	802,702,456
前払費用	35,312,729	預り連絡運賃	668,321,244
固定資産	216,928,388,600	預り金	10,345,920
鉄道事業固定資産	211,700,376,110	前受運賃	1,214,245,323
建設仮勘定	506,545,100	前受金	21,483,802
投資その他の資産	4,721,467,390	賞与引当金	237,249,363
投資有価証券	4,001,440,000	固定負債	231,801,241,816
長期前払費用	202,390	長期未払金	229,797,280,222
繰延税金資産	719,333,000	退職給付引当金	1,846,039,430
その他の投資等	492,000	圧縮未決算特別勘定	14,960,000
		その他の固定負債	142,962,164
		(負債合計)	(241,330,284,749)
		株主資本	△3,477,088,201
		資本金	62,600,000,000
		利益剰余金	△66,077,088,201
		(純資産合計)	(△3,477,088,201)
計	237,853,196,548	計	237,853,196,548

(エ) 令和3年度の出資金、利子補給及び補助金の状況

a 出資金は、21,402,000,000円である。

b 利子補給は、次のとおりである。

 鉄道新線建設費利子補給金 16,643,256円

エ 公益財団法人千葉県生活衛生営業指導センター

(7) 目的

千葉県における生活衛生関係営業（生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律第2条第1項各号に掲げる営業をいう。以下同じ。）の経営の健全化及び振興を通じてその衛生水準の維持向上を図り、併せて利用者又は消費者の擁護を図ることを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 生活衛生関係営業に関する衛生施設の維持及び改善向上並びに経営の健全化についての相談及び指導
- b 生活衛生関係営業に関する利用者又は消費者の苦情処理及び苦情に関する営業者又は生活衛生同業組合の指導
- c 標準営業約款に関する営業者の登録
- d 生活衛生関係営業に関する講習会、講演会、展示会等の企画、開催又はその斡旋
- e 生活衛生関係営業に関する情報又は資料の収集及び提供
- f 生活衛生関係営業の振興のための事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
經常費用	39,023,893	經常収益	39,169,768
事業費	33,813,857	基本財産運用益	1,049
管理費	5,210,036	特定資産運用益	55
經常外費用	0	受託事業益	7,118,792
当期一般正味財産増減額	145,875	標準約款登録事業益	283,200
		受取補助金等	30,926,521
		受取寄付金	840,000
		雑収益	151
計	39,169,768	計	39,169,768

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	8,018,486 円	流動負債	445,411 円
現金預金	7,877,326	未払金	180,297
前払金	141,160	預り金	265,114
固定資産	17,719,841	固定負債	5,687,755
基本財産	10,500,000	退職給付引当金	5,687,755
特定資産	5,687,755	(負債合計)	(6,133,166)
その他固定資産	1,532,086	正味財産	19,605,161
		指定正味財産	10,500,000
		(うち基本財産への充当額)	(10,500,000)
		一般正味財産	9,105,161
		(うち特定資産への充当額)	(5,687,755)
計	25,738,327	計	25,738,327

(エ) 令和3年度の出捐金及び補助金の状況

a 出捐金は、5,000,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

千葉県生活衛生営業指導センター指導助成費補助金 26,876,521円

千葉県生活衛生営業振興対策事業補助金 4,000,000円

オ 公益社団法人千葉県園芸協会

(7) 目的

千葉県内の園芸関係者の連絡協調を図り、新鮮で安心・安全な園芸農産物を広く一般国民に安定供給するため、園芸事業の健全なる発展と農業経営の安定を図ることを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 千葉県内園芸関係者の連絡協調
- b 園芸品の生産振興に関する事業
- c 園芸品の販売振興に関する事業
- d 食育促進に関する事業
- e 園芸生産品の消費向上に関する事業
- f 野菜価格補填に関する事業
- g 園芸農産物の優良品種の普及に関する事業
- h 農地流動化の促進に関する事業
- i 新規就農の促進及び青年農業者の育成に関する事業
- j 行政諮問に対する答申建議又は請願

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	740,114,616	経常収益	744,003,471
事業費	727,467,025	特定資産運用益	575,173
管理費	12,647,591	受取会費	38,121,750
法人税、住民税及び事業税	438,900	事業収益	325,692,048
当期一般正味財産増減額	3,449,955	受取補助金等	187,436,054
		受取負担金	5,700,000
		雑収益	407,346
		受取受託金	73,033,674
		受取交付金	113,037,426
計	744,003,471	計	744,003,471

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	1,084,340,896 円	流動負債	87,960,741 円
現金預金	178,849,989	未払金	63,164,751
未収金	24,874,179	未払費用	6,480,887
販売用農地	875,503,428	未払消費税等	1,497,400
前払費用	148,500	仮受金	9,414,003
農地耕作条件改善事業		未払法人税等	438,900
仮払金	4,964,800	1年以内返済長期借入金	2,000,000
固定資産	604,455,944	農地耕作条件改善事業	
特定資産	601,180,828	仮受金	4,964,800
その他固定資産	3,275,116	固定負債	1,340,601,877
		農業開発公社清算費用	
		長期借入金	100,000,000
		退職給付引当金	13,014,820
		青果物価格補償事業	
		預り金	438,166,008
		農地預り金	789,421,049
		(負債合計)	(1,428,562,618)
		正味財産	260,234,222
		指定正味財産	150,000,000
		(うち特定資産への充当額)	(150,000,000)
		一般正味財産	110,234,222
計	1,688,796,840	計	1,688,796,840

(エ) 令和3年度出捐金、補助金、交付金、負担金及び借入金の状況

a 出捐金は、150,000,000円である。

b 補助金及び交付金は、次のとおりである。

園芸産地強化・連携支援事業補助金 8,900,000円

農地中間管理事業補助金 176,036,054円

農地売買支援事業補助金 2,500,000円

千葉新規就農等支援事業交付金 12,000,000円

高収益作物次期作支援交付金 101,037,426円

c 負担金は、次のとおりである。

農業経営相談所運営負担金 1,200,000円

d 借入金は、次のとおりである。

区 分	前年度末借入額	当年度借入額	当年度償還額	当年度末借入額	備 考
長期借入金	円 104,000,000	円 0	円 2,000,000	円 102,000,000	社団法人千葉県農業開発公社清算費用貸付金返済債務(無利子)

カ 公益財団法人千葉県消防協会

(ア) 目的

消防防災力の充実強化を通じて、安心・安全な地域社会を形成するために、消防防災思想の普及啓発、消防防災知識・技術の向上、消防防災活動能力・組織の強化、消防職・団員の士気の高揚及び福利厚生の実施を図ることにより、社会公共の安全、福祉の増進に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 消防防災思想の普及啓発に関すること。
- b 雑誌図書その他刊行頒布に関すること。
- c 会員の研修、消防防災知識・技術の向上に関すること。
- d 殉職会員の遺族及び会員並びに被災者に対する弔慰救済、慰霊に関すること。
- e 消防機関及び会員並びに消防功労者の表彰に関すること。
- f 消防諸団体の育成、協力、連携に関すること。
- g 消防防災に関する調査研究に関すること。
- h 会員の福祉厚生事業に関すること。
- i 千葉県消防会館事務室の貸付に関すること。

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書
自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

費	用	収	益
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
経常費用	46,708,822 円	経常収益	48,426,336 円
事業費	38,320,868	基本財産運用益	656,203
管理費	8,387,954	受取会費	270,000
当期一般正味財産増減額	1,717,514	受取補助金等	30,866,266
		事業収益	1,092,000
		受取負担金	15,487,040
		雑収益	54,827
計	48,426,336	計	48,426,336

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	29,722,865 円	流動負債	4,018,254 円
現金預金	28,659,422	未払金	785,217
棚卸資産	1,063,443	預り金	2,067,037
固定資産	150,863,606	賞与引当金	1,166,000
基本財産	109,100,000	正味財産	176,568,217
特定資産	33,934,657	一般正味財産	176,568,217
その他固定資産	7,828,949	(うち基本財産への充当額)	(109,100,000)
		(うち特定資産への充当額)	(33,934,657)
計	180,586,471	計	180,586,471

(エ) 令和3年度の出捐金及び補助金の状況

a 出捐金は、60,000,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

消防振興事業補助金 21,600,000円

キ 公益財団法人千葉県建設技術センター

(ア) 目的

安全で安心な地域社会づくりの実現を目指し、千葉県内の地方公共団体が施工する建設事業の円滑で効率的な執行を支援するとともに、建設技術者の技術の向上を図り、良質な社会資本の整備に寄与することを目的とする。

(イ) 主な事業の内容

- a 良質な社会資本の整備を推進するための普及啓発、技術者養成、情報提供、技術支援及び建築物等の品質確保事業
- b 良質な社会資本の整備を推進するための行政支援事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

費		用		収		益	
一般正味財産増減の部		円		一般正味財産増減の部		円	
經常費用	626,982,888			經常収益	675,082,480		
事業費	611,841,408			基本財産運用益	1,852,168		
管理費	15,141,480			特定資産運用益	192,628		
經常外費用	2			事業収益	672,867,699		
法人税、住民税及び事業税	13,731,500			雑収益	169,985		
当期一般正味財産増減額	34,368,090			指定正味財産増減の部			
				基本財産運用益	1,852,168		
				一般正味財産への振替額	△1,852,168		
計	675,082,480			計	675,082,480		

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	440,535,144 円	流動負債	244,034,505 円
現金	127,380	未払金	198,590,599
普通預金	25,699,009	前受金	2,074,495
未収金	414,672,004	預り金	3,119,568
立替金	15,751	未払消費税等	9,640,000
前払金	21,000	未払法人税等	13,731,500
固定資産	1,065,831,133	賞与引当金	16,878,343
基本財産	416,300,000	固定負債	128,741,849
特定資産	623,292,173	退職給付引当金	128,741,849
その他固定資産	26,238,960	(負債合計)	(372,776,354)
		正味財産	1,133,589,923
		指定正味財産	316,300,000
		(うち基本財産への充当額)	(316,300,000)
		一般正味財産	817,289,923
		(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)
		(うち特定資産への充当額)	(494,550,324)
計	1,506,366,277	計	1,506,366,277

(エ) 令和3年度の出捐金の状況

a 出捐金は、200,000,000円である。

ク 公益財団法人千葉県私学教育振興財団

(7) 目的

千葉県内における私立学校教育環境の充実及び向上を図ることにより、私立学校教育の振興及び発展を図り、もって千葉県における教育文化の高揚に資することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

a 私立学校における教育環境の充実及び向上に資する事業

(ウ) 財務の状況

正 味 財 産 増 減 計 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
經常費用	5,266,619,785 円	經常収益	5,381,901,337 円
事業費	3,677,539,421	基本財産運用益	24,827,749
管理費	30,142,409	特定資産運用益	234,562,102
準備金繰入額	1,558,937,955	受取会費	63,590,586
当期一般正味財産増減額	131,606,909	受取補助金等	1,619,448,468
当期指定正味財産増減額	△804,231,728	受取負担金	3,439,272,720
		雑収益	199,712
		基本財産評価損益等	△3,441,800
		特定資産評価損益等	19,767,157
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	9,082,417
		一般正味財産への振替額	△813,314,145
計	4,593,994,966	計	4,593,994,966

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	1,469,616,833 円	流動負債	3,297,720,878 円
現金預金	84,168,885	未払金	3,291,992,193
未収入金	1,384,641,470	預り金	189,201
前払金	806,478	賞与引当金	5,539,484
固定資産	22,166,158,310	固定負債	18,691,361,352
基本財産	3,410,025,557	長期借入金	15,100,000
特定資産	18,735,672,635	退職手当交付準備金	18,676,261,352
その他固定資産	20,460,118	(負債合計)	(21,989,082,230)
		正味財産	1,646,692,913
		指定正味財産	1,529,558,578
		(うち基本財産への充当額)	(1,529,558,578)
		一般正味財産	117,134,335
		(うち基本財産への充当額)	(1,880,466,979)
		(うち特定資産への充当額)	(59,411,283)
計	23,635,775,143	計	23,635,775,143

(エ) 令和3年度の出資金、出捐金、補助金の状況

a 出資金は、605,016,425 円である。

b 出捐金は、924,542,153 円である。

c 補助金は、次のとおりである。

退職資金事業補助金 815,184,240 円

利子補給事業補助金 12,000 円

ケ 公益財団法人成田空港周辺地域共生財団

(ア) 目的

成田空港（成田国際空港）の関係自治体及び成田国際空港株式会社と協力し、成田空港周辺地域において、きめ細かな民家防音工事助成事業、騒音対策周辺事業、航空機騒音等の調査・研究事業等生活環境の改善に資する騒音対策事業を実施することにより、成田空港と周辺地域との共生の実現及び成田空港周辺地域の発展に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 成田空港周辺地域における民家防音工事に対する助成であって、公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律（以下「騒防法」という。）に基づく騒音対策事業を補完するものとして行う次の事業
 - (a) 騒防法第8条の2の規定により第1種区域として国土交通大臣が指定した区域（以下「第1種区域」という。）に隣接する区域に所在する住宅に対する防音工事助成事業
 - (b) 第1種区域に所在する住宅に対する防音工事助成事業
 - (c) その他(a)及び(b)に掲げる事業に付随する事業
- b 成田空港周辺地域の騒音対策周辺事業（空港からの影響を緩和し、良好な地域づくりに資する事業をいう。）として行う次の事業
 - (a) 航空機騒音の影響下にある住民の健康に係る事業
 - (b) 環境問題に関する講演、研修等空港に起因する問題に対する住民の理解の増進に係る事業
 - (c) 建物等の移転をしようとする住民の円滑な移転の支援に係る事業
 - (d) その他(a)から(c)までに掲げる事業に類する事業
- c 航空機騒音等に関する測定及び調査研究事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費	用	収	益
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
経常費用	933,331,208 円	経常収益	950,901,034 円
事業費	910,302,039	基本財産運用益	2,011,000
管理費	23,029,169	特定資産運用益	45,771
当期一般正味財産増減額	17,569,826	受託事業等収益	1,436,820
当期指定正味財産増減額	△401,350,326	受取負担金	26,634,290
		受取寄附金	918,973,951
		雑収益	1,799,202
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	2,011,000
		特定資産運用益	45,771
		受取負担金	19,634,290
		受取寄附金	524,623,625
		一般正味財産への振替額	△947,665,012
計	549,550,708	計	549,550,708

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	36,515,272 円	流動負債	76,348,402 円
現金預金	33,910,790	未払金	69,206,059
未収金	2,486,661	預り金	896,343
前払金	117,821	賞与引当金	6,246,000
固定資産	1,172,198,697	正味財産	1,132,365,567
基本財産	600,000,000	指定正味財産	1,103,304,556
特定資産	503,304,556	(うち基本財産への充当額)	(600,000,000)
その他固定資産	68,894,141	(うち特定資産への充当額)	(503,304,556)
		一般正味財産	29,061,011
計	1,208,713,969	計	1,208,713,969

(エ) 令和3年度の出捐金及び負担金の状況

a 出捐金は、274,626,779円である。

b 負担金は、次のとおりである。

航空機騒音測定事業負担金 4,008,000円

コ 京葉臨海鉄道株式会社

(7) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 鉄道事業法による貨物の運輸業
- b 日本貨物鉄道株式会社等に係る業務の受託
- c 鉄道付帯設備の賃貸に関する事業
- d 倉庫業
- e 貨物利用運送事業
- f 不動産の売買、賃貸、仲介及び利用開発に関する事業
- g 産業廃棄物の収集・運搬に関する事業
- h 前各号に付帯又は関連する一切の事業

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書
自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

費	用	収	益
営業費用	2,253,815,050 円	営業収益	2,393,243,142 円
鉄道事業費用	1,757,371,604	鉄道事業収益	1,808,235,968
不動産事業費用	154,689,813	不動産事業収益	208,522,775
倉庫事業費用	126,929,341	倉庫事業収益	161,660,107
鉄道付帯設備賃貸事業費用	214,824,292	鉄道付帯設備賃貸事業	
営業外費用	72,836,983	収益	214,824,292
支払利息	72,836,983	営業外収益	80,702,532
特別損失	102,342,989	受取利息及び配当金	3,044,796
工事負担金等圧縮損	11,167,954	施設賃貸利息受取	71,141,464
固定資産除却損	69,904,535	その他の収益	6,516,272
貯蔵品整理損	21,270,500	特別利益	68,187,954
税引前当期純利益	113,138,606	工事負担金等受入額	11,167,956
(法人税、住民税及び事業税)	(18,179,900)	固定資産売却益	2,899,999
(法人税等調整額)	(14,995,075)	会員権償還益	1,619,999
(当期純利益)	(79,963,631)	車両修繕引当金取崩額	52,500,000
計	2,542,133,628	計	2,542,133,628

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	1,934,503,710 円	流動負債	787,368,375 円
現金・預金	856,968,805	1年以内返済長期	
受取手形	29,264,180	借入金	276,424,000
未収運賃	408,712,854	未払金	98,776,258
未収金	239,751,124	未払費用	50,307,556
未収消費税	15,116,700	未払法人税等	10,424,700
貯蔵品	71,886,660	預り連絡運賃	240,680,063
短期貸付金	300,000,000	預り金	5,746,154
その他の流動資産	12,803,387	前受収益	21,098,744
固定資産	7,272,889,187	賞与引当金	83,910,900
鉄道事業固定資産	3,311,750,992	固定負債	3,810,566,388
不動産事業固定資産	673,808,330	長期借入金	3,287,410,000
倉庫事業固定資産	32,364,930	車両修繕引当金	241,250,000
鉄道付帯設備貸貸事業		退職給付引当金	229,428,658
業固定資産	2,671,017,655	役員退職慰労引当金	5,437,500
投資その他の資産	583,947,280	その他の固定負債	47,040,230
		(負債合計)	(4,597,934,763)
		株主資本	4,594,646,114
		資本金	1,948,000,000
		利益剰余金	2,646,646,114
		評価・換算差額等	14,812,020
		その他有価証券評価	
		差額金	14,812,020
		(純資産合計)	(4,609,458,134)
計	9,207,392,897	計	9,207,392,897

(エ) 令和3年度の出資金の状況

a 出資金は、610,000,000円である。

サ 公益財団法人千葉ヘルス財団

(7) 目的

保健医療の分野における重要かつ新たな課題に対し、有効な保健医療体制の推進に資する事業を行うとともに、総合的臓器不全対策の推進に関する事業を行い、もって県民の健康の保持増進と保健医療の向上に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 在宅医療体制を推進するための事業の実施及び助成
- b 老人医療、難病医療及び終末期医療に対する体制を推進するための事業の実施及び助成
- c 総合的臓器不全対策を推進するための事業の実施及び助成
- d 前各号に関する情報の提供及び知識の普及啓発

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	18,706,366	経常収益	20,097,050
事業費	15,232,074	基本財産運用益	4,778,289
管理費	3,474,292	事業収益	383,900
当期一般正味財産増減額	1,390,684	受取補助金等	200,000
当期指定正味財産増減額	△14,079,716	受取寄付金	14,734,861
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	4,598,573
		一般正味財産への振替額	△18,678,289
計	6,017,334	計	6,017,334

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	2,861,483 円	流動負債	1,047,540 円
現金預金	2,387,513	未払費用	872,659
未収金	473,225	預り金	174,881
立替金	745	正味財産	526,219,342
固定資産	524,405,399	指定正味財産	524,293,923
基本財産	524,293,923	(うち基本財産への充当額)	(524,293,923)
その他固定資産	111,476	一般正味財産	1,925,419
計	527,266,882	計	527,266,882

(エ) 令和3年度の出捐金の状況

- a 出捐金は、255,693,887 円である。

シ 公益財団法人千葉県文化振興財団

(7) 目的

文化芸術を普及振興し、県民の自主的文化活動を支援することにより、生きがいとうるおいのある世界に開かれた文化県千葉の建設に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 文化芸術の創造、振興及び鑑賞普及事業
- b 文化芸術活動の支援及び人材の育成事業
- c 文化芸術資源の調査研究及び活用事業
- d 文化芸術情報の収集及び発信事業
- e 文化芸術振興のための国内外との交流事業
- f 文化芸術拠点施設の管理運営事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

費		用		収		益	
一般正味財産増減の部		円		一般正味財産増減の部		円	
經常費用	915,135,484			經常収益	937,369,396		
事業費	897,830,574			基本財産運用益	4,253,769		
管理費	17,304,910			特定資産運用益	5,922		
法人税、住民税及び事業税	170,000			事業収益	826,774,639		
当期一般正味財産増減額	22,063,912			受取補助金等	104,454,573		
当期指定正味財産増減額	1,566,800			受取寄付金	1,400,001		
				雑収益	480,492		
				指定正味財産増減の部			
				受取補助金等	3,000,000		
				基本財産運用益	4,253,769		
				一般正味財産への振替額	△5,686,969		
計	938,936,196			計	938,936,196		

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	140,248,190 円	流動負債	146,813,915 円
現金	250,310	未払金	79,401,268
普通預金	113,326,926	預り金	6,381,239
当座預金	6,000	前受金	44,464,994
未収金	25,214,642	賞与引当金	16,566,414
前払費用	1,331,709	固定負債	234,931,077
立替金	118,603	退職給付引当金	234,931,077
固定資産	917,131,634	(負債合計)	(381,744,992)
基本財産	574,074,000	正味財産	675,634,832
特定資産	342,491,430	指定正味財産	580,249,633
その他固定資産	566,204	(うち基本財産への充当額)	(574,074,000)
		(うち特定資産への充当額)	(6,175,633)
		一般正味財産	95,385,199
		(うち特定資産への充当額)	(101,384,720)
計	1,057,379,824	計	1,057,379,824

(エ) 令和3年度の出捐金、補助金及び公の施設の管理の状況

a 出捐金は、300,000,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

千葉県文化振興財団総合文化振興事業費補助金 36,734,000円

c 公の施設の管理は、次のとおりである。

千葉県文化会館 222,166,712円

千葉県東総文化会館 149,117,578円

千葉県南総文化ホール 155,969,734円

青葉の森公園芸術文化ホール 118,432,612円

ス 公益財団法人千葉交響楽団

(7) 目的

オーケストラによる音楽芸術の普及向上に関し必要な事業を行い、もって千葉県における文化の振興に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 演奏会の開催
- b 音楽教室の開催
- c 音楽に関する講座の開設

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	167,111,496	経常収益	171,429,848
事業費	162,322,769	基本財産運用益	1,474
管理費	4,788,727	受取会費	6,006,500
当期一般正味財産増減額	4,318,352	事業収益	119,325,460
		受託料収入	8,845,854
		受取補助金等	29,711,000
		受取寄附金	6,519,000
		雑収益	1,020,560
計	171,429,848	計	171,429,848

貸 借 対 照 表

(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	62,754,801 円	流動負債	11,862,865 円
現金預金	53,344,917	未払金	5,711,533
未収金	9,035,554	預り金	572,532
前払費用	374,330	未払消費税等	3,070,200
固定資産	82,303,556	前受金	2,508,600
基本財産	65,300,000	固定負債	30,000,000
特定資産	16,831,550	正味財産	103,195,492
その他固定資産	172,006	指定正味財産	67,131,550
		(うち基本財産への充当額)	(65,300,000)
		(うち特定資産への充当額)	(1,831,550)
		一般正味財産	36,063,942
		(うち特定資産への充当額)	(15,000,000)
計	145,058,357	計	145,058,357

(エ) 令和3年度の出捐金及び補助金の状況

- a 出捐金は、25,000,000円である。
- b 補助金は、次のとおりである。
(公財)千葉交響楽団事業補助金 23,151,000円

セ 株式会社幕張メッセ

(ア) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 内外商品等の見本市、展示会の企画、誘致及び開催
- b 国際・国内会議及び文化、スポーツ等各種催物の企画、誘致及び開催
- c 展示場、多目的展示場、会議施設、商談室及びこれらに附帯する施設の賃貸及び管理運営
- d 駐車場の管理運営
- e 展示場、多目的展示場、会議施設、商談室及びこれらに附帯する施設における飲食店、売店、宿泊施設等利便施設の経営
- f 内外の経済、社会、産業情報の調査、分析及び提供
- g 展示装飾機器、事務機器及び什器備品のレンタル業
- h 損害保険代理業、旅行業、広告代理業及び運送代理店業
- i 前各号に附帯する一切の事業

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

費 用		収 益	
営業費用	3,511,333,031 円	売上高	3,965,817,429 円
売上原価	2,721,115,983	施設使用料収入	2,136,334,839
販売費及び一般管理費	790,217,048	受託業務収入	1,490,800,000
営業外費用	139,116	関連事業収入	338,682,590
特別損失	2,450,114	営業外収益	1,107,636
税引前当期純利益	453,650,804	特別利益	648,000
(法人税、住民税及び事業税)	(75,669,906)		
(法人税等調整額)	(64,284,659)		
(当期純利益)	(313,696,239)		
計	3,967,573,065	計	3,967,573,065

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	3,678,625,147 円	流動負債	643,083,797 円
現金及び預金	3,535,668,001	未払金・未払費用	483,476,494
売掛金	71,767,389	未払法人税等	96,105,100
未収金	18,303,340	預り金	18,357,353
前払金・前払費用	5,747,818	前受金	45,144,850
立替金	47,193,324	固定負債	113,101,932
貸倒引当金	△54,725	預り保証金	37,117,000
固定資産	4,987,403,132	退職給付引当金	75,984,932
有形固定資産	4,052,316,189	(負債合計)	(756,185,729)
無形固定資産	46,656,984	株主資本	7,909,842,550
投資その他の資産	888,429,959	資本金	4,000,000,000
		利益剰余金	3,909,842,550
計	8,666,028,279	計	8,666,028,279

(エ) 令和3年度の出資金及び公の施設の管理の状況

a 出資金は、1,000,000,000円である。

b 公の施設の管理は、次のとおりである。

日本コンベンションセンター国際展示場 1,628,000,000円

ソ 一般財団法人千葉県勝浦海中公園センター

(7) 目的

南房総国定公園勝浦海中公園内にレクリエーション・教養文化施設を建設し、これらの施設の管理運営を適切かつ能率的に行うことにより、広く利用者の教養の向上と人間性の回復、自然保護思想の醸成と海中公園地区の保護を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 勝浦海中公園内のレクリエーション・教養文化施設の建設及び管理運営
- b 勝浦海中公園の利用者の誘致及び宣伝
- c 勝浦海中公園の保護のための調査研究及び自然保護思想の啓もう
- d 地方公共団体の所有にかかる施設の管理運営の受託
- e その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費 用		収 益	
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
經常費用	97,579,574	經常収益	76,771,672
事業費	92,105,710	基本財産運用益	2,330
管理費	5,473,864	特定資産運用益	6,613
經常外費用	4,454,148	事業収益	74,506,710
法人税、住民税及び事業税	70,000	雑収益	2,256,019
当期一般正味財産増減額	△25,332,050		
計	76,771,672	計	76,771,672

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	47,932,324 円	流動負債	8,031,801 円
現金	45,667,024	未払金	2,733,527
未収金	1,389,207	未払消費税等	4,852,500
仮払金	876,093	預り金	268,744
固定資産	367,255,736	仮受金	177,030
基本財産	35,000,000	固定負債	23,956,513
特定資産	43,956,513	退職給与引当金	3,956,513
その他固定資産	288,299,223	受入保証金	20,000,000
		(負債合計)	(31,988,314)
		正味財産	383,199,746
		指定正味財産	35,000,000
		(うち基本財産への充当額)	(35,000,000)
		一般正味財産	348,199,746
		(うち特定資産への充当額)	(43,956,513)
計	415,188,060	計	415,188,060

(エ) 令和3年度の出資金及び公の施設の管理の状況

a 出資金は、15,000,000 円である。

b 公の施設の管理は、次のとおりである。

勝浦海中公園施設管理運営受託事業 8,660,000 円

海の博物館立体駐車場使用料徴収業務受託事業 3,850,000 円

タ 千葉園芸プラスチック加工株式会社

(7) 目的

(イ)に掲げる事業を営むことを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 農家から排出される農業用廃プラスチック等の処理並びに成形再生加工及び販売
- b 上記に付帯する事業

(ウ) 財務の状況

損 益 計 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

費	用	収	益
売上原価	216,810,932 円	売上高	247,724,338 円
販売費及び一般管理費	27,526,779	処理料	206,397,838
特別損失	4,579,200	販売高	41,326,500
税引前当期純利益	3,225,509	営業外収益	118,152
(法人税、住民税及び事業税)	(180,015)	特別利益	4,299,930
(法人税等調整額)	(△804,461)		
(当期純利益)	(3,849,955)		
計	252,142,420	計	252,142,420

貸 借 対 照 表

(令和 4 年 3 月 31 日現在)

資	産	負 債 ・ 純 資 産	
流動資産	192,251,830 円	流動負債	21,312,535 円
現金及び預金	77,064,034	預り金	151,403
製品	2,576,000	未払費用	20,402,532
貯蔵品	70,074	未払消費税等	578,600
未収入金	113,449,316	納税充当金	180,000
貸倒引当金	△907,594	固定負債	19,779,686
固定資産	8,692,737	退職給付引当金	17,567,757
有形固定資産	44,920,235	賞与引当金	2,211,929
減価償却累計額	△43,341,145	(負債合計)	(41,092,221)
無形固定資産	142,782	株主資本	159,852,346
投資その他の資産	6,970,865	資本金	60,000,000
外部出資金	150,000	利益剰余金	99,852,346
長期前払費用	176,870	利益準備金	15,000,000
繰延税金資産	6,643,995	その他利益剰余金	84,852,346
計	200,944,567	計	200,944,567

(エ) 令和 3 年度の出資金の状況

- a 出資金は、15,000,000 円である。

チ 公益社団法人千葉県緑化推進委員会

(7) 目的

県土緑化運動を推進することにより、森林の整備及び公共施設の緑化等を図り、森林の有する多面的機能の維持増進、緑豊かで良好な郷土の創造、県民の豊かで安全な暮らしの実現、さらには地球環境の保全に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 緑の募金（緑の募金による森林整備等の推進に関する法律（以下「緑の募金法」という。）第2条第2項に規定する緑の募金をいう。以下同じ。）運動の推進及び緑の募金による寄附金の管理を行うこと。
- b 森林整備等（「緑の募金法」第2条第1項に規定する活動をいう。）に係る交付金の交付に関する事業。
- c 森林整備等の事業及び普及啓発に関すること。
- d 県民や企業等による森林整備等の活動に関すること。
- e 森林整備等に係る体験活動等による青少年の健全育成に関する事業。
- f 公共施設等の環境緑化に関すること。
- g 緑化基金に関すること。
- h 林業労働力の確保に関すること。

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費	用	収	益
一般正味財産増減の部	円	一般正味財産増減の部	円
経常費用	73,435,846	経常収益	74,510,000
事業費	68,075,796	基本財産運用益	140,913
管理費	5,360,050	受取会費	13,600,000
当期一般正味財産増減額	1,074,154	事業収益	26,261,865
		受取補助金等	6,200,000
		受取寄付金	28,221,395
		雑収益	85,827
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	140,913
		一般正味財産への振替額	△140,913
計	74,510,000	計	74,510,000

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	17,701,245 円	流動負債	6,042,306 円
現金預金	3,238,945	未払金	4,542,723
未収金	14,462,300	前受金	1,098,514
固定資産	247,067,781	預り金	401,069
基本財産	218,108,859	固定負債	9,489,013
特定資産	28,958,921	退職給付引当金	9,489,013
その他固定資産	1	(負債合計)	(15,531,319)
		正味財産	249,237,707
		指定正味財産	218,108,859
		(うち基本財産への充当額)	(218,108,859)
		一般正味財産	31,128,848
		(うち特定資産への充当額)	(19,469,908)
計	264,769,026	計	264,769,026

(エ) 令和3年度の出捐金、補助金及び公の施設の管理の状況

a 出捐金は、55,500,000円である。

b 補助金は、次のとおりである。

みどりの少年団育成事業補助金 550,000円

林業労働力確保支援センター事業補助金 6,000,000円

運営費緑化推進事業補助金 6,200,000円

c 公の施設の管理は、次のとおりである。

緑化推進拠点施設管理 4,730,000円

ツ 一般財団法人千葉県漁業振興基金

(7) 目的

千葉県の漁業に係る自然的、社会的、経済的諸環境の整備に関する調査研究を行うとともに、漁業の振興等を図るための諸対策事業を実施して、本県漁業の発展並びに水産物の安定供給に寄与することを目的としている。

(イ) 主な事業の内容

- a 漁業振興のための調査研究に関する事業
- b 漁場の保全回復及び漁業生産基盤の整備に関する事業
- c 水産資源の維持増大及び管理に関する事業
- d 漁業経営の安定及び水産物消費の拡大に関する事業
- e 漁場の汚染防止のための広報普及等の対策及び被害処理に関する事業
- f 漁業操業安全のための広報普及等の対策及び被害処理に関する事業
- g 漁業生産施設の被害漁業者に対する救済金の給付及び漁業操業中の事故による遭難等に対する見舞金の給付に関する事業

(ウ) 財務の状況

正味財産増減計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

費 用		収 益	
	円		円
一般正味財産増減の部		一般正味財産増減の部	
経常費用	1,413,302,407	経常収益	1,379,385,748
事業費	1,380,078,149	基本財産運用益	403,463,631
管理費	33,224,258	特定資産運用益	5,108,557
当期一般正味財産増減額	△40,676,631	受取補助金等	2,850,000
当期指定正味財産増減額	△726,945,119	受取寄付金	945,337,957
		雑収益	22,625,603
		基本財産投資有価証券	
		評価損益等	△6,759,972
		指定正味財産増減の部	
		基本財産運用益	300,578,508
		特定資産運用益	6,372,222
		受取寄付金	556,611,125
		基本財産収益	20,802,000
		基本財産投資有価証券	
		償還損益等	30,420,000
		基本財産投資有価証券	△327,500,928
		評価損益等	
		特定資産投資有価証券	△1,500,000
		評価損益等	
		一般正味財産への	△1,312,728,046
		振替額	
計	645,680,657	計	645,680,657

貸 借 対 照 表
(令和4年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 正 味 財 産	
流動資産	229,527,743 円	流動負債	1,236,275 円
現金	74,426	預り金	93,487
決済用普通預金	44,448,718	賞与引当金	1,142,788
普通預金	23,839,215	固定負債	36,664,700
定期預金	100,000,000	退職給付引当金	17,754,700
未収収益	61,165,384	役員退職慰労引当金	18,910,000
固定資産	22,473,823,587	(負債合計)	(37,900,975)
基本財産	18,837,313,800	正味財産	22,665,450,355
特定資産	3,634,819,905	指定正味財産	21,329,308,689
その他固定資産	1,689,882	(うち基本財産への充当額)	(17,873,102,378)
		(うち特定資産への充当額)	(3,245,258,302)
		一般正味財産	1,336,141,666
		(うち基本財産への充当額)	(964,211,422)
		(うち特定資産への充当額)	(352,896,903)
計	22,703,351,330	計	22,703,351,330

- (エ) 令和3年度の出捐金の状況
a 出捐金は、7,370,000,000円である。

2 補助金交付団体

I 学校法人（私立高等学校）

監査を実施した6団体について、おおむね適正と認められた。
(指摘事項又は注意事項のあった団体…なし)

(1) 指摘等結果の概要

- ア 指摘事項
指摘すべき事項は認められなかった。
- イ 注意事項
注意すべき事項は認められなかった。
- ウ 指導事項
指導すべき事項は認められなかった。

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

特になし

(3) 監査の実施状況

【学校法人（私立高等学校） 6団体】

実施団体名	実施年月日
学校法人成田山教育財団 成田高等学校	令和5年3月10日
学校法人八千代松陰学園 八千代松陰高等学校	令和5年3月10日
学校法人千葉敬愛学園 敬愛学園高等学校	令和5年3月10日
学校法人日本大学 日本大学習志野高等学校	令和5年3月10日
学校法人平田学園 国府台女子学院高等部	令和5年3月10日
学校法人千葉学園 千葉商科大学附属高等学校	令和5年3月10日

(主務課 総務部学事課)

II その他の団体

監査を実施した2団体について、おおむね適正と認められた。
(指摘事項又は注意事項のあった団体…なし)

(1) 指摘等結果の概要

- ア 指摘事項
指摘すべき事項は認められなかった。
- イ 注意事項
注意すべき事項は認められなかった。
- ウ 指導事項
指導すべき事項は認められなかった。

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

特になし

(3) 監査の実施状況

【その他の団体 2 団体】

実施団体名 (主務課)	実施年月日
君津中央病院企業団 (健康福祉部医療整備課)	令和5年2月14日
柏商工会議所 (商工労働部経済政策課)	令和5年3月8日

3 公の施設の管理団体

監査を実施した1団体について、おおむね適正と認められた。

(指摘事項又は注意事項のあった団体…なし)

(1) 指摘等結果の概要

ア 指摘事項

指摘すべき事項は認められなかった。

イ 注意事項

注意すべき事項は認められなかった。

ウ 指導事項

指導すべき事項は認められなかった。

(2) 指摘事項及び注意事項に係る個別の結果

特になし

(3) 監査の実施状況

【公の施設の管理団体 1 団体】

実施団体名	実施年月日
公益財団法人千葉県教育振興財団 〔施設名 千葉県立鴨川青少年自然の家 主務課 教育庁教育振興部生涯学習課〕	令和5年3月3日